

環境絵日記に協賛し、地域企業賞で表彰

11月19日（木）、「家族や身近な人たちと考える環境未来都市」をテーマとした「環境絵日記」に当社が協賛し、当社にて地域企業賞の表彰をしました。

今年で16年目となる「環境絵日記」は、横浜市資源リサイクル事業協同組合が行っている啓発活動です。

環境絵日記とは

「環境絵日記」とは、環境問題や環境保全について、子どもたちが家庭で話し合ったことや自分で考えた内容を、絵（視覚的表現）と文章の組み合わせで自由に表現する絵日記です。小学生の頃から環境問題を家庭で考えることで、子どもたちが正しい環境知識を持ち、「新しい環境意識」を育んでいくことを願って、毎年、夏休みに横浜市内の子どもたちから募集しています。今年では過去最高の23,375作品の応募がありました。

地域企業賞を授与

当日は、地域への密着、交流を目的とし、横浜市南区内の藤の木小学校から作品を選出しました。当日の地域企業賞の表彰式では、普段の生活の中で自分の親や先生以外に褒められた子どもの生き活きとした表情を見ることができました。



選定の理由

今回、地域企業賞に選ばせていただいた「自然の力でクリーン発電」という作品を選定しました理由として・・・

- ・非常にユニークなアイデアで横浜の海を利用した作品で、社員投票の大多数が受賞者の方の作品を選びました。受賞者の方が描いた環境絵日記のような、環境や技術が実現出来たら横浜がより素晴らしい町になると思います。

以上のような理由から社内で検討した結果、この作品を地域企業賞に選びました。

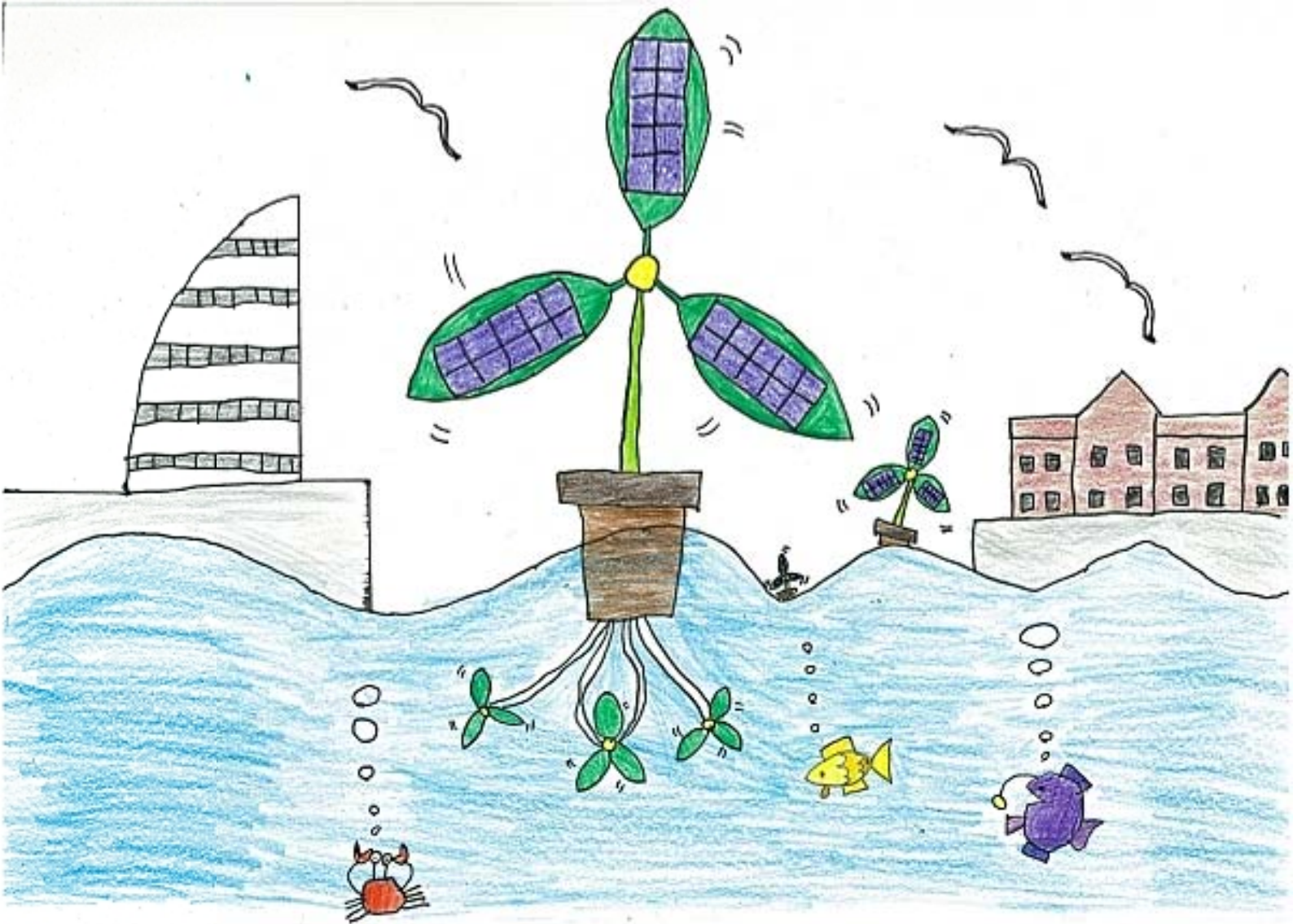
表彰を終えて



今回の表彰に先立ち、社内で選考作品を楽しく拝見し、社員一同改めて”環境”に対する意識が高まりました。

また、受賞者の方に来社していただき、笑顔で表彰式を迎えられたことに地域との結びつきを実感することも出来ました。

この体験を当社のCSR活動として今後も取り組めたらと思います。



2015年8月8日 土曜日 天気 晴れ

題目

自然の力でクリーン発電

地球の温暖化をふせぎ、しげんを節約するためには、石油を燃やさないで電気を作るしくみを考えなくては いけません。

横浜には海があり、海には強い風がふきます。そこで私は、海の上にかぶプロペラを考えてみました。海の上の強い風を受けてプロペラが回り、電気を作ります。

また、プロペラには太陽電池をはりつけ、太陽の光でも電気を作ります。プロペラは海の上についていますが、海面の下にも小さなプロペラをつけて波の力でも電気を作ります。

がっこう 学校 横浜市立藤の木小学校 4 年 山本 彩加

(漢字で名前を書いた場合は、ふりがなをふってください)

RECYCLE Design 横浜市資源リサイクル事業協同組合

環境紙 2016 AA47030